



■トキの第8回放鳥を実施しました
6月7日から、佐渡トキ保護センター野生復帰ステーションの順化ケージにおいて、トキの放鳥が開始され、6月10日までに全17羽（オス13羽、メス4羽）が飛び立ちました。

明ではないでしょうか。一方で、体温低下や給餌不足、カラスによる襲撃により、6羽のヒナが死亡したほか、兄妹ペアから誕生した4羽のヒナは遺伝的な問題を考慮して、収容・飼育しています。自然界で繁殖を成功させるためのいくつかの課題も見えてきたところです。

■トキの情報をお寄せください
順化ケージから飛翔したトキは、放鳥直後は普段トキが見られない場所で行動することもあります。もし、トキを見かけたら佐渡市トキ交流会館（☎0120-980-551）へお気軽に情報をお寄せください。

また、トキの羽根が散乱している、トキの行動に異常を感じるなどの情報がありましたら、環境省佐渡自然保護官事務所（☎22-3372）までご連絡ください。

■巣立った後の幼鳥の様子
今年、佐渡では5組のペアから14羽のヒナが誕生し、うち4羽が巣立ちを迎えました。2年連続での野生下でのふ化・巣立ち、佐渡の環境が豊かであることの証

巣立った幼鳥は地上に降り、巢のある林の近くの畑や水田で、親鳥と行動する様子が確認されています。巣立ったばかりの幼鳥が十分な採餌能力・飛翔能力を身につけるのには時間がかかります。トキを探し回ることにはせず、見つけても近づかず、そと遠くから守ってください。

■トキを見かけたら（トキ観察ルールガイド）

- ① トキに近づかない
 - ② 車内から観察する
 - ③ 大きな音や光を出さない
- ※特にねぐらや巢のある林には近づかないようにしましょう

◆市役所農林水産課生物多様性推進室トキ政策係（トキ交流会館内）
☎24-6040



公開講演会 サドガエルが辿った進化と佐渡の自然

日時 7月28日(日) 午後1時～4時

主催 新潟大学 朱鷺・自然再生学研究センター

会場 トキ交流会館 大ホール

後援 佐渡市

新潟大学では、佐渡市から「佐渡動植物生息実態調査」の委託を受け、希少種、固有種、佐渡島の自然の中で特徴的な種について、保全等の観点から重点的に情報を集めています。



平成24年12月、新潟大学協働研究員 関谷國男氏を中心に新種記載をした「サドガエル」は、これまでに佐渡島でしか見つかっていない数少ない固有種の発見であり、島の生きものの成り立ち、独自の進化を考えるうえで大変貴重な存在です。

この講演会では、関谷國男氏をはじめ「サドガエル」に関わってこられた方々のお話を聞くことができる貴重な機会です。

参加料は無料です。皆さまのご参加をお待ちしております。

お問い合わせ 新潟大学 朱鷺・自然再生学研究センター

担当：小林 ☎0259-22-3885

【講演内容】

- ・あれ、みたことのないカエルだ！
関谷國男（新潟大学）
 - ・サドガエルが^{たど}った進化
尾形光昭
（横浜市繁殖センター）
 - ・すみ場所の特徴
小林頼太（新潟大学）
 - ・見た目じゃわからない地域差
山中美優（東京大学）
 - ・サドガエルの将来と保全
福山欣司（慶応大学）
 - ・トキの野生復帰とサドガエル
川瀬 翼（環境省）
- オーガナイザー
三浦郁夫（広島大学）
小林頼太（新潟大学）

※講演の内容は一部変更となる場合があります。